

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3			2月より引っ越しをし、新しい場所も高学年の児童で手狭になってしまうので活動を分散させ、環境の工夫をしていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1			男性スタッフも増え、同性介助が出来ている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3			段差のある危険箇所はスタッフが補助をして支援している
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				ホームページが再開したので、今年より公開していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				オンライン研修を活用。 様々な研修に取り組むことが出来た。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				アセスメント前にお便りで最近の様子や困っている事を記入してもらい、事前に状況把握したうえでアセスメントを実施、個別支援計画に反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1			SSTカードを活用し、各児童のソーシャルスキルの把握状況を観察している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				日々のスケジュールや祝日の内容も複数のスタッフで立案、検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				季節の制作、お出かけを企画し、学校の様子や児童のコンディションに合わせて実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5				今年度の夏休みは川遊びを中心に自然の中で心身発散を楽しめた。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				子どもの状況によって日々のスケジュールを変更したり、スタッフの役割分担をLINEを活用して計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				支援開始前に今日のスケジュールをスタッフで打ち合わせ、ホワイトボードやLINEを活用して共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				支援終了後に活動の振り返り、児童の様子、送迎時の申し送り等の共有をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				その日のうちに記録を行い、翌日に支援内容の検証、改善点について話し合っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5				児童の変化に合わせてその都度話し合いを行うが、三ヶ月に一回のペースでモニタリングを行い状況を把握している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	1			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5					
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5				電話や連絡帳等で保護者との情報共有を行い、児童の担任とも週の予定等の情報共有をしている。また、スタッフ間での確認、ダブルチェックをしてミスのないように努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2				日常的に医療ケアが必要な児童はいない。必要性が出てきた時には連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2				相談員を介して情報収集をしている。必要に応じて新規利用者はそれ以前に利用していた事業所と情報共有行いたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1				卒業生が利用する事業所に対して、相談員を通して情報共有を行った。今年度も要望があれば対応予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1				研修の情報が届いた際には必要に応じて参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		2			コロナ禍だったので交流の機会はなかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5					送迎の時や面談の時に話し合っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2				保護者からのニーズがあれば相談員や関係機関につなげられるよう情報収集を行う。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5					変更部分を丁寧に説明したうえで再度契約することに努める。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5					助言まではいかなくとも、保護者の話に傾聴し、一緒に対応方法を考えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1				昨年の秋にBBQを開催し、二カ所の事業所の保護者の交流・支援を実施。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5					苦情箱の設置
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5					定期的にお便りを発行。保護者や子どもに発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5					日々、各職員が十分配慮して支援を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	1			コロナにより、招待する行事は企画していない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5				保護者向けに災害時対応を配布し、周知している。新年度のタイミングで緊急時対応の内容について職員全員で確認している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5				避難訓練を年三回実施している。非常時の備品チェックに加え、備蓄している非常食を児童が食べれるかのチェックも実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				新しく入社したスタッフには外部の虐待研修に参加してもらい、年一回の事業所内研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5				保護者への事前説明、承諾を得て必要な児童に対しては対応方法を個別支援計画に記載している。やむを得ず身体拘束を行った際の記録を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5				食物アレルギーのあり児童は在籍しているが、普段のおやつでは提供しない食材のため、保護者からの情報をもとに対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				発生した際は用紙に記入し、定期的に会議を行い、共有・改善点を話し合っている。